

# ご修理のときは

修理・お手入れ・お取扱いのご相談は、まずお買い求めの販売店にご依頼ください。  
転居や贈答品などでお困りの場合は、商品名・品番をご確認のうえ、お近くの営業拠点へお問い合わせください。

## お客様メモ


お買い上げの際、販売店名・製品に表示されている製造番号 (NO.) などを下欄にメモしておく、修理を依頼されるとき便利です。

お買い上げ日	年	月	日	製造番号 (NO.)
販売店 (TEL)				

## 全国営業拠点

お客様相談センター ※土・日・祝日・弊社休業日を除く 9:00~12:00, 13:00~17:00

### ●フリーダイヤル

 0120-20-8822

※携帯電話からはご利用になれません。  
携帯電話からはお近くの営業拠点にお問い合わせください。  
※長くお待たせする場合があります。  
お急ぎのときは、お近くの営業拠点に直接お問い合わせください。

●営業本部	●北陸支店
TEL (03) 5783-0626	TEL (076) 263-4311
●北海道支店	●関西支店
TEL (011) 786-5122	TEL (0798) 37-2665
●東北支店	●中国支店
TEL (022) 288-8676	TEL (082) 504-8282
●関東支店	●四国支店
TEL (03) 6738-0872	TEL (087) 863-6761
●中部支店	●九州支店
TEL (052) 533-0231	TEL (092) 621-5772

■営業所の移転等により、上記電話番号に連絡がとれない場合は、下記のアドレスにアクセスすることで、最新の全国営業拠点をご確認いただけます。

<https://www.hikoki-powertools.jp/relation/sales.html>

WEBに  
アクセス

バーコードリーダー機能付きの  
携帯端末より読み取ることで、  
最新の全国営業拠点をご確認  
いただけます。



# 工機ホールディングス株式会社

〒108-6020 東京都港区港南2丁目15番1号 (品川インターシティA棟)

営業本部 TEL (03) 5783-0626 (代)

電動工具ホームページ — <https://www.hikoki-powertools.jp>

部品コード C99145202 100 M

# HIKOKI

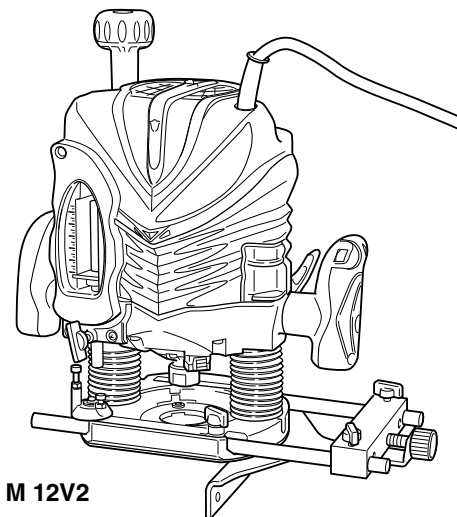
## ルータ

### M 12SA2

### M 12V2 (無段変速)

## 取扱説明書

このたびは弊社製品をお買い上げいただき、ありがとうございました。  
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。  
お読みになった後は、いつでも見られる所に大切に保管してご利用ください。



M 12V2

二重絶縁



本製品は日本国内用のため、日本国外で販売または使用することはできません。日本国外で使用した場合は、仕様上の性能を発揮できない恐れがあります。日本国外では、修理または保証を受けられません。

This product may be used only in Japan and should not be sold or used in any other country. Otherwise, product may not perform as intended. No authorized service or warranty is available outside of Japan.

## 目次

	ページ
電動工具の安全上のご注意	2
ルータの使用上のご注意	5
各部の名称	6
仕様	6
標準付属品	7
別売部品	7
用途	9
作業前の準備	10
ご使用前に	11
ビットの取付け・取りはずし	12
使い方	13
付属品の使い方	15
別売部品の使い方	17
保守・点検	18
ご修理のときは	裏表紙

### 警告、注意、注の意味について

ご使用上の注意事項は「警告」と「注意」に区分しておりますが、それぞれ次の意味を表します。また、「注」の意味も説明します。

**警告**：誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

**注意**：誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

**注**：製品のすえ付け、操作、メンテナンスに関する重要なご注意。

なお、「注意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載しているので、必ず守ってください。

## 電動工具の安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- 使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

### 警告

- ① **作業場は、いつもきれいに保ってください。**
  - ちらかった場所や作業台は、事故の原因になります。
- ② **作業場の周囲状況も考慮してください。**
  - 電動工具は、雨の中で使用したり、湿った、または、ぬれた場所で使用しないでください。
  - 作業場は十分に明るくしてください。
  - 可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。
- ③ **感電に注意してください。**
  - 電動工具を使用中、身体を、アース（接地）されているものに接触させないようにしてください。  
（例えば、パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などの外枠）
- ④ **子供を近づけないでください。**
  - 作業員以外、電動工具やコードに触れさせないでください。
  - 作業員以外、作業場へ近づけないでください。
- ⑤ **使用しない場合は、きちんと保管してください。**
  - 乾燥した場所で、子供の手の届かない所または鍵のかかる所に保管してください。
- ⑥ **無理して使用しないでください。**
  - 安全に能率よく作業するために、電動工具の能力に合った速さで作業してください。
- ⑦ **作業に合った電動工具を使用してください。**
  - 小形の電動工具やアタッチメントは、大形の電動工具で行う作業には使用しないでください。
  - 指定された用途以外に使用しないでください。
- ⑧ **きちんとした服装で作業してください。**
  - だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがあるので、着用しないでください。
  - 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めの付いた履物の使用をお勧めします。
  - 長い髪は、帽子やヘアカバーなどでおおってください。

## ⚠警告

- ⑨ **保護メガネを使用してください。**
  - 作業時は、保護メガネを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。
- ⑩ **防音保護具を着用してください。**
  - 騒音の大きい作業では、耳栓、イヤマフなどの防音保護具を着用してください。
- ⑪ **コードを乱暴に扱わないでください。**
  - コードを持って電動工具を運んだり、コードを引っ張ってコンセントから抜かないでください。
  - コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。
- ⑫ **加工する物をしっかりと固定してください。**
  - 加工する物を固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。
- ⑬ **無理な姿勢で作業をしないでください。**
  - 常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。
- ⑭ **電動工具は、注意深く手入れをしてください。**
  - 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
  - 注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
  - コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。
  - 継ぎ（延長）コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
  - 握り部は、常に乾かしてきれいな状態を保ち、油やグリースが付かないようにしてください。
- ⑮ **次の場合は、電動工具のスイッチを切り、さし込みプラグを電源から抜いてください。**
  - 使用しない、または、修理する場合。
  - 刃物、トイシ、ビットなどの付属品を交換する場合。
  - その他、危険が予想される場合。
- ⑯ **調節キーやスパナなどは、必ず取りはずしてください。**
  - 電源を入れる前に、調節に用いたキーやスパナなどの工具類が取りはずしであることを確認してください。
- ⑰ **不意な始動は避けてください。**
  - 電源につないだ状態で、スイッチに指を掛けて運ばないでください。
  - さし込みプラグを電源にさし込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。
- ⑱ **屋外使用に合った継ぎ（延長）コードを使用してください。**
  - 屋外で使用する場合、キャプタイヤコードまたはキャプタイヤケーブルの継ぎ（延長）コードを使用してください。

## ⚠警告

- ⑲ **油断しないで十分注意して作業を行ってください。**
  - 電動工具を使用する場合は、取扱方法、作業のしかた、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
  - 常識を働かせてください。
  - 疲れているときは、使用しないでください。
- ⑳ **損傷した部品がないか点検してください。**
  - 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また、所定機能を発揮するか確認してください。
  - 可動部分の位置調整および締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他、運転に影響を及ぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
  - 損傷した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。
  - スイッチが故障した場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。
  - スイッチで始動および停止操作のできない電動工具は、使用しないでください。
- ㉑ **指定の付属品やアタッチメントを使用してください。**
  - この取扱説明書および弊社カタログに記載されている指定の付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因になる恐れがあるので、使用しないでください。
- ㉒ **電動工具の修理は、専門店に依頼してください。**
  - この製品は、該当する安全規格に適合しているもので改造しないでください。
  - 修理は、必ずお買い求めの販売店に依頼してください。修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因になります。

## 回 二重絶縁について

電気が流れる導体部と人の触れる外枠部の間が、二つの絶縁物で二重に絶縁されている電動工具であり、この製品には“回”マークを表示しています。二重絶縁工具は、感電に対し安全性が高められています。異なった部品と交換したり、間違っ組立てたりすると、二重絶縁構造ではなくなり、安全でなくなる場合があります。電気系統の分解・組立や部品の交換・修理は、お買い求めの販売店に依頼してください。

## ルータの使用上のご注意

先に電動工具として共通の注意事項を述べましたが、ルータとして、さらに次に述べる注意事項を守ってください。

### 警告

- ① 使用電源は、銘板に表示してある電圧で使用してください。表示を超える電圧で使用すると、回転が異常に速くなり、けがの原因になります。
- ② 使用中は、両手で本体を確実に保持してください。確実に保持していないと、けがの原因になります。
- ③ 切削する材料は、安定性のよい台に置いて作業してください。確実に保持していないと、けがの原因になります。
- ④ 使用中は、ビットや回転部に手や顔などを近づけないでください。けがの原因になります。
- ⑤ 使用中、機体の調子が悪かったり、異常音や異常振動がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い求めの販売店に点検・修理を依頼してください。そのまま使用していると、けがの原因になります。
- ⑥ 誤って落としたり、ぶつけたときは、機体などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。

### 注意

- ① ビットや付属品は、取扱説明書に従って確実に取付けてください。確実に取付けないと、はずれたりし、けがの原因になります。
- ② ビットの取扱いには、手袋、布などで手を保護し、十分注意してください。不用意に扱うと、切り傷の原因になります。
- ③ 本体を万力などで保持した使い方はしないでください。不意の接触などで、けがの原因になります。
- ④ 材料に釘などの異物がないことを確認してください。刃こぼれだけでなく、反発により思わぬけがの原因になります。
- ⑤ ロックレバーを緩める際には、本体を立ててハンドルを握って緩めてください。横置きでロックレバーを緩めると、バネの反動でベースが急に動き、思わぬけがの原因になります。

### 注意

- ⑥ スイッチを切った後も、惰性で回転しているビットに注意してください。手などが触れると、けがの原因になります。
- ⑦ 作業直後のビットは高温になっているので、触れないでください。やけどの原因になります。
- ⑧ 回転させたまま、台や床などに放置しないでください。けがの原因になります。

## 各部の名称

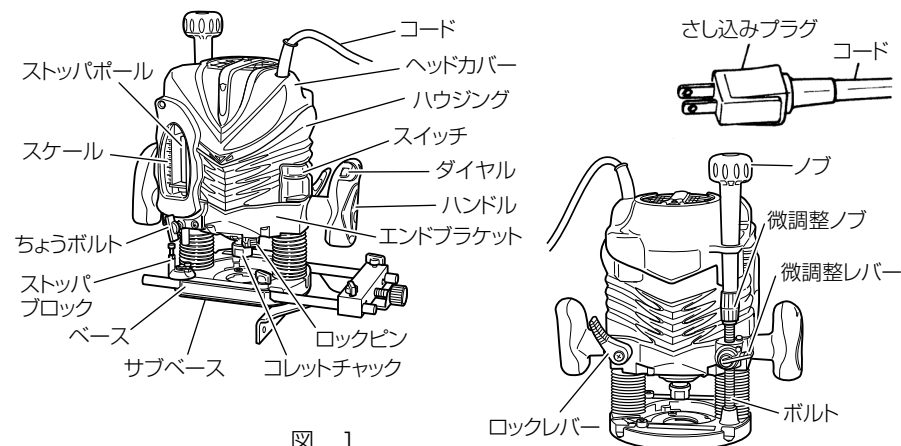


図 1

## 仕様

項目	M 12V2	M 12SA2
使用電源	単相交流 50/60 Hz 共用 電圧 100 V	
コレットチャック穴径	12 mm	
本体移動量	65 mm	
モーター	単相直巻整流子モーター	
全負荷電流	15 A	
消費電力	1,430 W	
無負荷回転数	8,000-22,000min <sup>-1</sup> {回/分}	22,000min <sup>-1</sup> {回/分}
質量	6.3 kg (コードを除く)	6.2 kg (コードを除く)
コード	2心キャブタイヤコード 2.5 m	

# 標準付属品

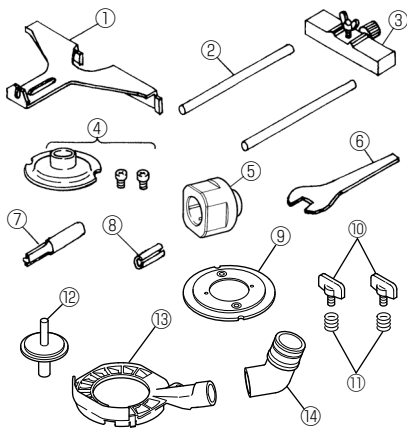


図 2

- ① ストレートガイド …………… 1 個
- ② ガイドバー …………… 2 本
- ③ バーホルダ …………… 1 組  
(フィードスクリュー・ちょうボルト付)
- ④ テンプレートガイド …………… 1 組  
(M5 × 6 ネジ 2 個付)
- ⑤ コレットチャック (8 mm) …… 1 個
- ⑥ 23 mm スパナ …………… 1 個
- ⑦ ストレートビット …………… 1 本  
(8 × 8 mm、材質超硬)
- ⑧ チャックスリーブ (6 mm) …… 1 個
- ⑨ テンプレートガイドアダプタ … 1 個
- ⑩ ちょうボルト (M6 × 15) …… 4 個
- ⑪ ロックスプリング …………… 2 個
- ⑫ センタリングゲージ …………… 1 個
- ⑬ ダストガイド …………… 1 個
- ⑭ ダストガイドアダプタ …… 1 個

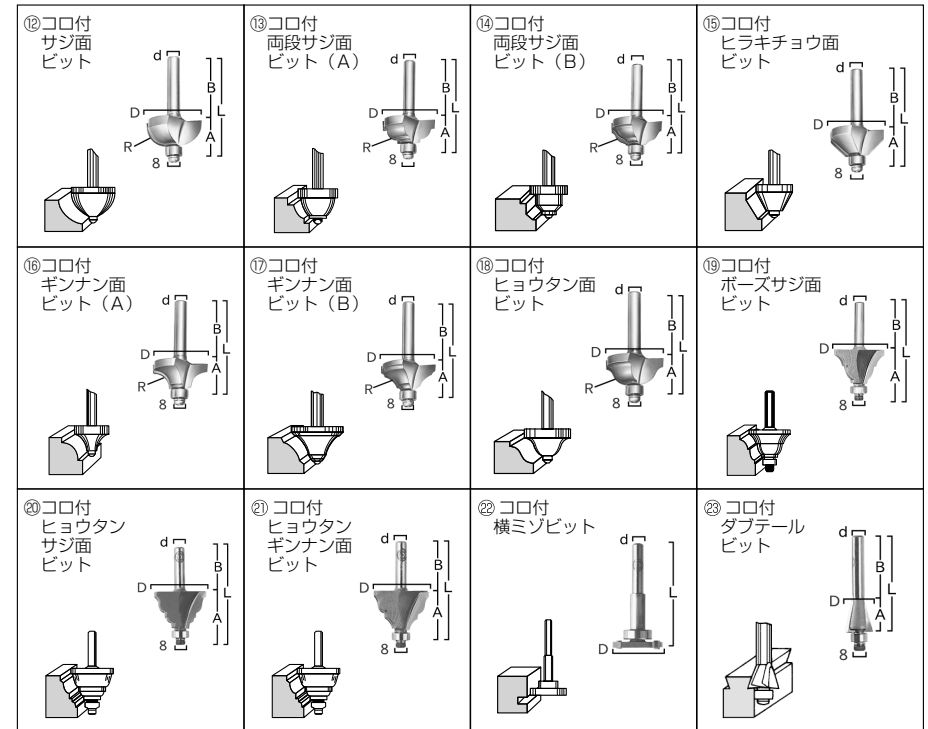
# 別売部品

…………… (別売部品は生産を打ち切る場合があります。)

## 1. ビット一覧

ビットはすべて超硬チップ付です。

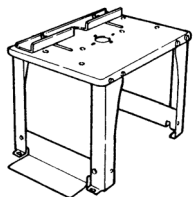
<p>①フラッシュビット (両面用) 6 × 6 mm 8 × 8 mm 12 × 12 mm</p>	<p>②フラッシュビット (片面用) 6 × 6 mm 8 × 8 mm 12 × 12 mm</p>	<p>③ストレートビット 6 × 6 mm 8 × 8 mm 12 × 10 mm 12 × 12 mm</p>
<p>④丸面ビット (ギンナン面ビット) 6 × R6 mm 12 × R4.5 mm 12 × R6 mm 12 × R8 mm</p>	<p>⑤45° トリマビット 6 × 20 mm</p>	<p>⑥ダブテールビット 6 × 12 mm 8 × 15 mm</p>
<p>⑦コロ付60° トリマビット</p>	<p>⑧コロ付フラッシュビット (片面用)</p>	<p>⑨コロ付シャクリ面ビット</p>
<p>⑩コロ付45° トリマビット</p>	<p>⑪コロ付丸面ビット (ボース面)</p>	



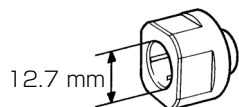
(寸法単位: mm)

品名	呼び寸法	d	D	A	R	B	C	L	品名	呼び寸法	d	D	A	R	B	C	L
① フラッシュビット (両面用)	2分	6	6	6	16	20	48	76	⑫ コロ付サジ面ビット	2分	20	10	R6				40
	3分	8	8	8	22	24	58	86		3分	26	12	R9				42
	4分	12	12	12	22	24	58	86		4分	20	10	R3				R3
② フラッシュビット (片面用)	2分	6	6	6	13	20	64		⑬ コロ付両段サジ面ビット (A)	2分	20	10	R5				42
	3分	8	8	8	14	24		3分		20	12	R5				R5	42
	4分	12	12	12	14	24		4分		20	12	R5				R5	42
③ ストレートビット	2分	6	6	6	20				⑭ コロ付両段サジ面ビット (B)	2分	20	5	R4				40
	3分	8	8	8	20			3分		26	10	R4				42	
	4分	12	10	10	25			4分		26	12	R6				42	
	5分	12	12	12	30			5分		26	12	R6				42	
	6分	12	12	12	30			6分		26	12	R6				42	
④ 丸面ビット (ギンナン面ビット)	2分	6	20	R6					⑮ コロ付ヒラキチョウ面ビット	2分	20	10		30			40
	3分	8	20	R4.5				3分		26	12					42	
	4分	12	20	R6				4分		20	10	R3.5				40	
	5分	12	20	R6				5分		26	12	R6.5				42	
⑤ 45° トリマビット	2分	6	20	R6					⑯ コロ付ギンナン面ビット (A)	2分	20	10	R6				40
	3分	8	20	R4.5				3分		26	12	R9				42	
	4分	12	20	R6				4分		20	10	R4.5				40	
⑥ ダブテールビット	2分	6	12	12	9				⑰ コロ付ギンナン面ビット (B)	2分	20	10	R6				40
	3分	8	15	10.5				3分		26	12	R6				42	
	4分	12	15	10.5				4分		26	12	R6				42	
⑦ コロ付60° トリマビット	2分	6	20	10					⑱ コロ付ボースサジ面ビット	2分	15	13		30			43
	3分	8	20	10				3分		21	13					43	
⑧ コロ付フラッシュビット (片面用)	2分	6	20	10					⑲ コロ付ヒョウタン面ビット	2分	28						55
	3分	8	20	10				3分		31	21					26	47
⑨ コロ付シャクリ面ビット	2分	6	20	10					⑳ コロ付ヒョウタンギンナン面ビット	2分	28						55
	3分	8	20	10				3分		31	21					26	47
⑩ コロ付45° トリマビット	2分	6	20	10					㉑ コロ付横ミソビット	2分	28						55
	3分	8	20	10				3分		31	21					26	47
⑪ コロ付丸面ビット	2分	6	20	10					㉒ コロ付ダブルビット	2分	15	13		30			43
	3分	8	20	10				3分		21	13					30	43

## 2. ルータ用ベンチスタンド TR12-B

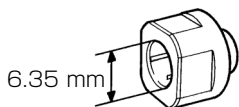


## 3. 12.7 mm (1/2") コレットチャック



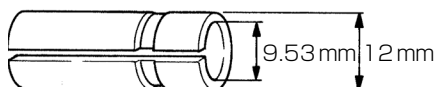
軸径 12.7 mm のビットを使用するとき、ご利用ください。

## 4. 6.35 mm (1/4") コレットチャック



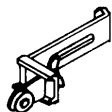
軸径 6.35 mm のビットを使用するとき、ご利用ください。

## 5. 12 × 9.53 mm (3/8") チャックスリーブ



軸径 9.53 mm のビットを使用するとき、ご利用ください。

## 6. トリマーガイド



## 用 途

○ 溝切り、面取りを主とした木工作業

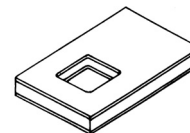
### 1. 〔溝切り〕



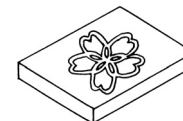
### 2. 〔各種面取り〕



### 3. 〔フラッシュドアの窓抜き、側面削り〕



### 4. 〔彫刻、形彫り〕



### 5. 〔その他〕

各種継ぎ合わせなど

## 作業前の準備

作業前に次の準備をすませてください。

### 1. 漏電しゃ断器の確認……………

この製品は二重絶縁構造ですので、法律により漏電しゃ断器の設置は免除されていますが、万一の感電防止のため、漏電しゃ断器が設置されている電源に接続することをおすすめします。

### 2. 継ぎ (延長) コード……………

#### ⚠ 警告

• 継ぎ (延長) コードは、損傷のないものを使用してください。

電源の位置がはなれていて継ぎコードが必要なときは、製品を最高の能率で故障なくご使用いただくため、電流を流すのに十分な太さのものをできるだけ短くしてご使用ください。

導体公称断面積	最大長さ
1.25 mm <sup>2</sup>	10 m
2 mm <sup>2</sup>	15 m
3.5 mm <sup>2</sup>	30 m

左の表は、使用できるコードの太さ (導体公称断面積) とその最大長さを示します。

### 3. 作業環境の整備・確認……………

作業する場所が注意事項にかかげられているような適切な状態になっているかどうか確認してください。

#### ○騒音防止規制について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制があります。ご近所に迷惑をかけないよう、規制値以下でご使用になることが必要です。状況に応じ、しゃ音壁を設けて作業してください。

## ご使用前に

### ⚠警告

•ご使用前に次のことを確認してください。1～2項については、さし込みプラグを電源にさし込む前に確認してください。

#### 1. 使用電源を確かめる……………

必ず銘板に表示してある電源でご使用ください。表示を超える電圧で使用するとモーターの回転数が異常に速くなり、機体が破壊する恐れがあります。

また、直流電源で使用しないでください。製品の損傷を生じるだけでなく、事故の原因になります。

#### 2. スイッチが切れていることを確かめる……………

スイッチが入っているのを知らずにさし込みプラグを電源にさし込むと不意に起動し思わぬ事故の原因になります。スイッチ(図1参照)はON側を押すと入り、OFF側を押すと切れます。スイッチがOFF側に押されていることを必ず確認してください。

#### 3. 電源コンセントの点検……………

さし込みプラグをさし込んだとき、ガタガタだったり、すぐ抜けるようでしたら修理が必要です。お近くの電気工事店などにご相談ください。

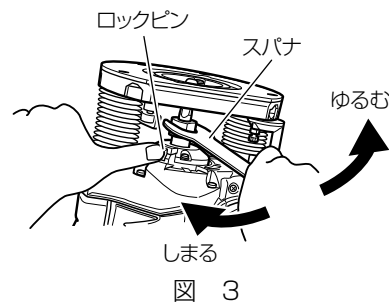
そのままお使いになりますと過熱して事故の原因になります。

## ビットの取付け・取りはずし

### 1. ビットの取付け……………

### ⚠警告

•万一の事故を防止するため、必ずスイッチを切り、さし込みプラグを電源から抜いておいてください。



- (1) ビットの底が突当るまでコレットチャックにビットをさし込み、2 mm 程度します。
- (2) ビットが入った状態でロックピンを押しながら、23 mm スパナを使ってコレットチャックを固く締付けます。(図3)
- (3) 軸径 8 mm のビットを使う場合は、付属の 8 mm コレットチャックをご使用ください。軸径 6 mm のビットを使う場合は、付属のチャックスリーブをご使用ください。12 mm コレットチャック穴にスリーブを深くさし込んでから、チャックスリーブにビットをさし込み、スパナで固く締付けます。

**注** •コレットチャックは必ずビットを入れてから締付けてください。ビットを入れずに締付けますと、コレットチャックに傷がつきます。  
•コレットチャックを締付けたあとにロックピンが元の位置まで戻っていることを確認してください。ロックピンがアマチュアシャフトとかみ合った状態では、ロックピン、アマチュアシャフトを破損する恐れがあります。

### 2. ビットを取りはずし……………

ビットを取りはずす場合は、ビットの取付け方法と逆の手順で行います。

**注** •コレットチャックをゆるめたあとにロックピンが元の位置まで戻っていることを確認してください。ロックピンがアマチュアシャフトとかみ合った状態では、ロックピン、アマチュアシャフトを破損する恐れがあります。

# 使い方

## 1. 切込み深さの調整……………

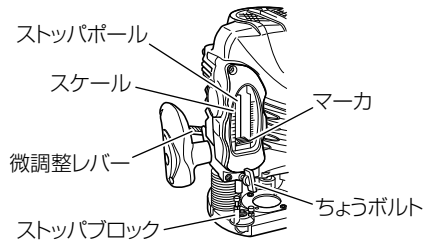


図 4

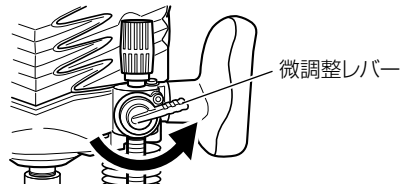


図 5

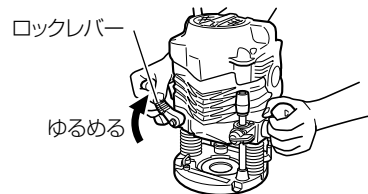


図 6

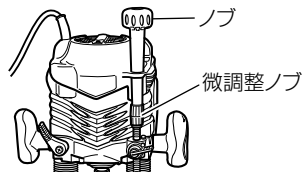


図 7

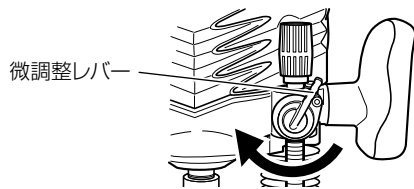


図 8

- (1) ルータを平らな材料の表面に置きます。
- (2) 微調整レバーを反時計方向に止まるまで回します。(図5)
- (3) ちょうボルトをゆるめ、ストップボールをストップブロックに当てます。
- (4) ロックレバーをゆるめ、ビットの先端が材料の表面に軽く当たるまで本体を押し下げます。この位置でロックレバーを締付けます。(図6)
- (5) ちょうボルトを締付け、スケールマーカを目盛り"0"に合わせます。
- (6) ちょうボルトをゆるめます。望む切込み深さの目盛りにマーカを上げてちょうボルトを締めます。
- (7) ロックレバーをゆるめて、ストップボールがストップブロックに当たるまで本体を押し下げますと、所要の切込み深さが得られます。

このルータは切込み深さの微調整が可能です。

- (1) 微調整ノブに付属のノブを取り付けます。(図7)
- (2) 微調整レバーを時計方向に止まるまで回します。(図8) 微調整レバーがネジに当たるまで回らない場合、ボルトのねじがかみ合っていないかもしれません。この場合は、ロックレバーを少しゆるめた状態で本体を上から強く抑え、ボルトのネジをかみ合わせてから、再度微調整レバーを回してください。
- (3) ロックレバーをゆるめて、微調整ノブを回すことで切込み深さの微調整が可能となります。

**注** • 微調整後は確実にロックレバーの締め付けを行ってください。  
ロックレバーを締め付けないと微調整レバー、ボルトが破損する恐れがあります。

## 2. ストップブロック……………

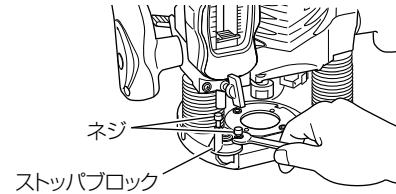


図 9

ストップブロックの2本のネジを調整することにより、3種類の異なる切込み深さにセットできます。このとき、調整したネジがゆるまないようにナットをレンチで締付けてください。(図9)

## 3. 回転速度調整……………

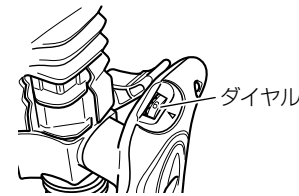


図 10

M 12V2 には無段階に回転速度を変えられる速度調整機能を備えています。ダイヤルが"1"のときは最小回転速度で、"6"のときは最大回転速度となります。(図10)

## 4. スプリングの取りはずし……………

### 警告

- ストップボルトは、本体を最大高さに固定した状態で取はずしてください。本体を縮めた状態でストップボルトを取りはずすと、飛び出したストップボルト、スプリングでけがをする恐れがあります。

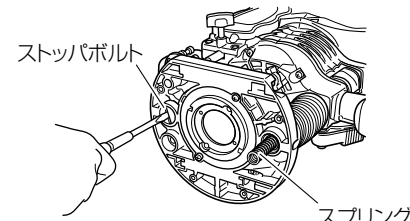


図 11

ルータのコラム内に収められているスプリングを取はずすことができます。これによりスプリング力を無くし、ルータスタンド取付け時の切込み深さ調整が楽に行えます。

- (1) サブベースの4本のネジをゆるめ、サブベースを取はずします。
- (2) ストップボルトをマイナスドライバーでゆるめて取はずすことで、スプリングを抜くことができます。(図11)



## 5. 削り方………

### 警告

- 作業時は、保護メガネを使用してください。
- 使用中は、ビットや回転部に手や顔などを近づけないでください。

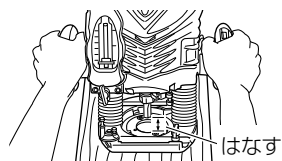


図 12

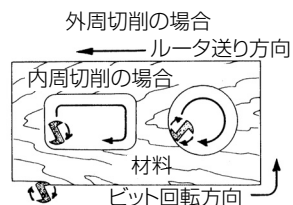


図 13

- (1) スイッチを入れるときは、ビットを材料からはなした状態で入れてください。また、最大回転速度に達するまで、作業を行わないでください。(図 12)

**注** •古いビットで深い切込み量の溝切り作業を行うと、高い切削音が生じる場合があります。このような場合は、新しいビットに取替えていただくと、高い切削音が収まります。

- (2) ビットは時計方向(ベースの矢印方向)に回転します。ルータの送り方向は図 13 の方向に合わせて、ご使用ください。滑らかな切削面が得られます。

## 付属品の使い方

### 警告

- 万一の事故を防止するため、必ずスイッチを切り、さし込みプラグを電源から抜いておいてください。

## 1. テンプレートガイドアダプタ………

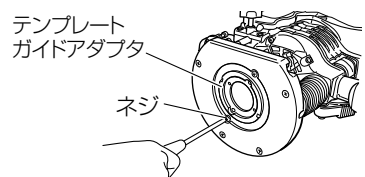


図 14

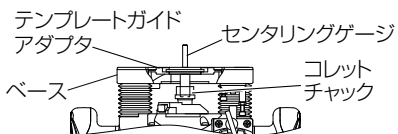


図 15

- (1) テンプレートガイドアダプタを止めている 2 本のネジをゆるめます。この状態でテンプレートガイドアダプタを動かすことが可能となります。(図 14)
- (2) センタリングゲージをテンプレートガイドアダプタの中央穴とコレットチャック穴に収めます。(図 15)
- (3) コレットチャックを手で締付けます。
- (4) テンプレートガイドアダプタをネジで締付けたあと、センタリングゲージを引抜きます。

## 2. テンプレートガイド………

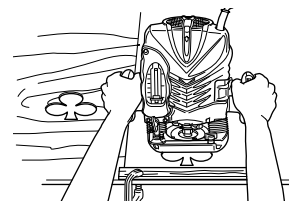


図 16

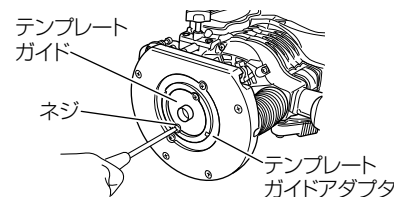


図 17

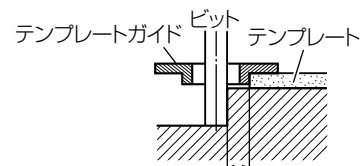


図 18

- (1) テンプレートガイドは、テンプレートを用いて同じ形状のものをたくさん加工する時に使用します。(図 16)

図 17 のようにテンプレートガイドをテンプレートガイドアダプタの中央穴に入れ、2 本のネジで締付けます。

テンプレートとは型板、ならい型のことです。ベニヤか薄い板で作ります。

テンプレートの内周にそってルータをご使用になった場合は、テンプレートガイドからビットの端までの寸法だけテンプレートより小さく仕上がります。

テンプレートの外周に沿ってご使用になった場合はその逆に大きく仕上がります。(図 18)

## 3. ストレートガイド………

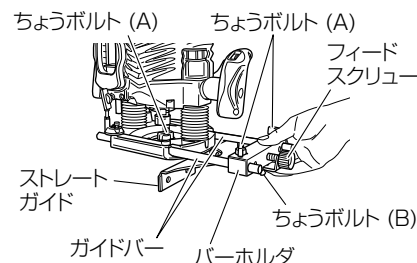


図 19

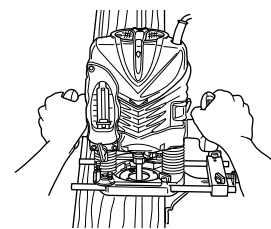


図 20

材料に沿って面取り、溝切り等の加工にご使用ください。

- (1) バーホルダの穴にガイドバーを入れ、バーホルダの上側から 2 本のちょうボルト(A) で軽く締付けます。(図 19)
- (2) ガイドバーをベースの穴にさし込み、しっかりとちょうボルト(A) で締付けます。
- (3) フィードスクリューでビットからガイド面までの寸法を微調整し、バーホルダ上のちょうボルト(A) と、ちょうボルト(B) でしっかりとストレートガイドを固定します。
- (4) 材料加工面にサブベース下面を密着させ、ストレートガイドのガイド面を材料に沿わせてご使用ください。(図 20)

#### 4. ダストガイド、ダストガイドアダプタ………

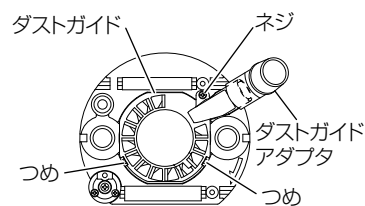


図 21

- (1) ダストガイドの2本のつめをベースの2カ所の溝に合わせて上からはめ込み、ダストガイドをネジで締め込みます。(図21)  
ダストガイドは切削屑が作業者へ向かうことを防ぎ、一定方向へ排出する効果を持ちます。
- (2) ダストガイドアダプタをダストガイドの切削屑排出口にはめ込むことで、集じん機を接続することができます。

## 別売部品の使い方

### 1. トリマーガイド………

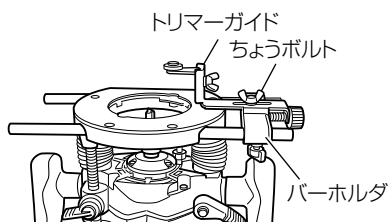


図 22

面取りにご使用ください。  
トリマーガイドはバーホルダにちょうボルトによって取付け固定します。(図22)

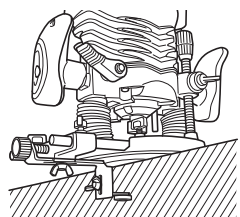


図 23

2本のちょうボルトで適切な位置に合わせてお使いください。(図23)

## 保守・点検

### 警告

- 点検・手入れの際は、必ずスイッチを切り、さし込みプラグを電源から抜いておいてください。

### 1. ビットの点検………

摩耗したビットをそのままご使用になっておきますと、モーターに無理をかけることになり、また能率も低下しますから、早めに新品と交換してください。

### 2. 各部取付けネジの点検………

各部取付けネジでゆるんでいるところがないかどうか定期的に点検してください。もしゆるんでいるところがありましたら締め直してください。  
ゆるんだままお使いになりますと、けがなど事故の原因になります。

### 3. モーター部の取扱いについて………

モーター部の巻線部分は本機の心臓部ともいえます。巻線部分にキズをつけたり洗油や水をつけたりしないよう十分注意してください。

- 注** ●モーター内部にゴミやほこりがたまると、故障の原因になります。  
使用後は、モーターを無負荷運転させて、湿気のない空気をエンドカバー側の風穴から吹き込んでください。ゴミやほこりの排出に効果があります。

### 4. 表面のよごれ清掃………

本機の外枠は強じんな合成樹脂製ですが、ガソリン、シンナー、石油、灯油類を付着させると表面を傷めます。  
清掃の場合は、乾いた布か石けん水をつけた布などでふいてください。

### 5. 製品や付属品の保管………

使用しない製品や付属品の保管場所として、下記のような場所は避け、安全で乾燥した場所に保管してください。

- お子様の手が届いたり、簡単に持ち出せる場所
  - 軒先など雨がかったり、湿気のある場所
  - 温度が急変する場所
  - 直射日光の当たる場所
  - 引火や爆発の恐れがある揮発性物質の置いてある場所
- このような場所には保管しない。